

平成27年度収蔵作品(受贈)

No	作家名	作品名	制作年	寸法:縦×横(cm)	材質・技法
1	辰野登恵子	WORK 85-P-4	1985	194.0×194.0	アクリル・カンヴァス
2	辰野登恵子	UNTITLED 95-8	1995	218.0×291.0	油彩・カンヴァス
3	鈴木新夫	午後	1939	194.0×130.0	油彩・カンヴァス
4	鈴木新夫	橋のある風景	1966	97.5×145.5	油彩・カンヴァス
5	鈴木新夫	橋のある風景(スケッチ)	1966	16.9×25.5	鉛筆、インク、パステル・紙
6	鈴木新夫	古河好間炭鉱ズリ山	1956	26.3×37.9	パステル、鉛筆・紙
7	鈴木新夫	からすうり	不詳	24.2×35.3	鉛筆、パステル、水彩・紙
8	鈴木新夫	労働者(後ろ姿)	不詳	35.7×25.6	木炭、鉛筆・紙
9	鈴木新夫	男とヤツデ	不詳	25.2×36.0	木炭、鉛筆・紙
10	鈴木新夫	選炭作業	1944	35.3×25.9	鉛筆、水彩、コンテ・紙
11	鈴木新夫	選炭作業	1944	36.3×25.5	鉛筆、コンテ・紙
12	鈴木新夫	炭鉱の坑内	1944	36.4×25.5	鉛筆、コンテ・紙
13	鈴木新夫	W氏像	1944	36.9×25.3	コンテ、鉛筆・紙
14	鈴木新夫	W氏像(2)	1944	36.9×25.3	コンテ・紙

◇辰野登恵子(たつの とえこ):1950年長野県に生まれる。1974年東京藝術大学大学院油画専攻修了。抽象表現主義やミニマリズム以降の絵画の在り方に自覚的で、新たな絵画空間の可能性を模索し、現代日本の抽象においてもっとも充実した成果を示した。2014年逝去。

◇鈴木新夫(すずき あらお):1915年いわき生まれ。1936年東京美術学校図画師範科卒業。1947年新制作派協会賞受賞。55年以降同会会員として活躍。労働の現場に取材し、労働者を深く受け止め共感を寄せた作風で知られる。昭和のいわきの美術を考えるにあたって重要な画家のひとり。1980年逝去。